

1 東葉高速線を取り巻く社会環境の現況と推移

1 - 1 沿線地域の人口動態

(1) 沿線人口の推移

平成 19 年度、東葉高速線の駅を中心として半径 1.5 k m の範囲に居住する沿線人口は約 25.7 万人、世帯数は約 10.6 万世帯であり、沿線人口、世帯数共に増加傾向となっている。

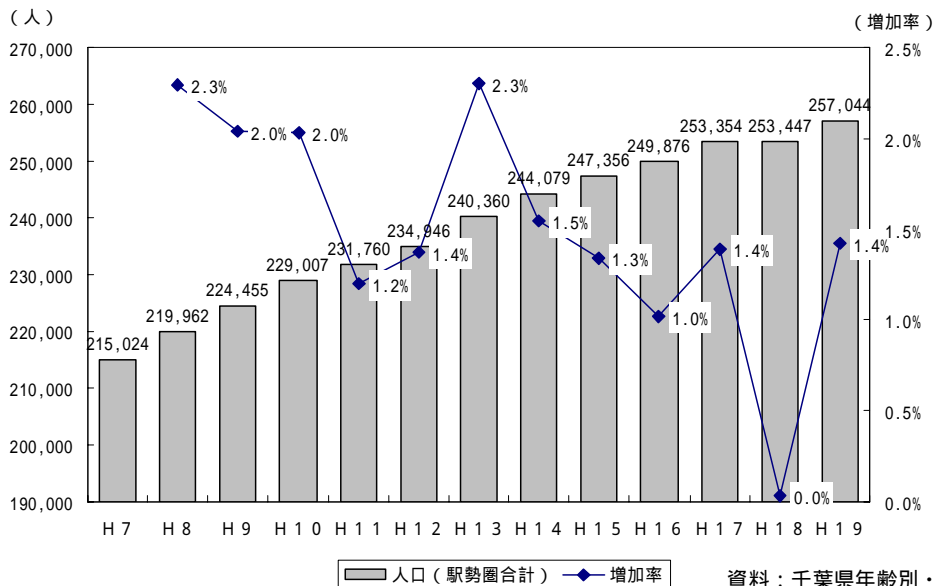


図 1-1 駅勢圏の人口の推移

駅別の駅勢圏人口の推移は、八千代緑が丘駅（平成 7 年と比較して約 45.6% 増加）、八千代中央駅（平成 7 年と比較して約 59.1% 増加）、村上駅（平成 7 年と比較して約 21.2% 増加）で増加傾向がみられるものの、飯山満駅、東葉勝田台駅では減少傾向がみられ、全体的には人口の推移は横ばい状態である。

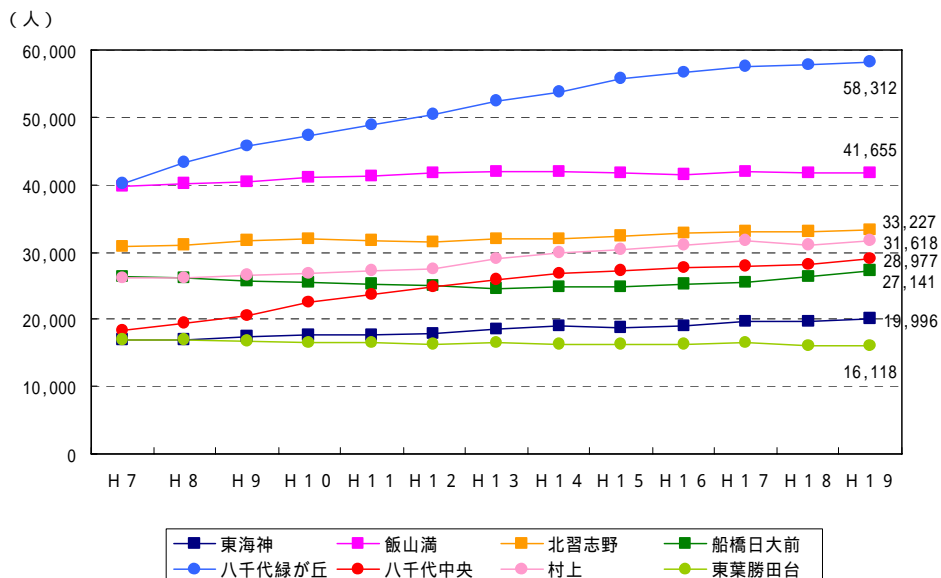


図 1-2 駅別の駅勢圏人口の推移

(2) 人口密度

東海神駅・飯山満駅・北習志野駅・船橋日大前駅（船橋市）

船橋市内の東海神駅、飯山満駅、北習志野駅、船橋日大前駅の駅勢圏の人口密度は、北習志野駅周辺部で人口密度が150～200人/haと高くなっているが、船橋日大前駅周辺部では、人口密度が0～50人/haと低くなっている。

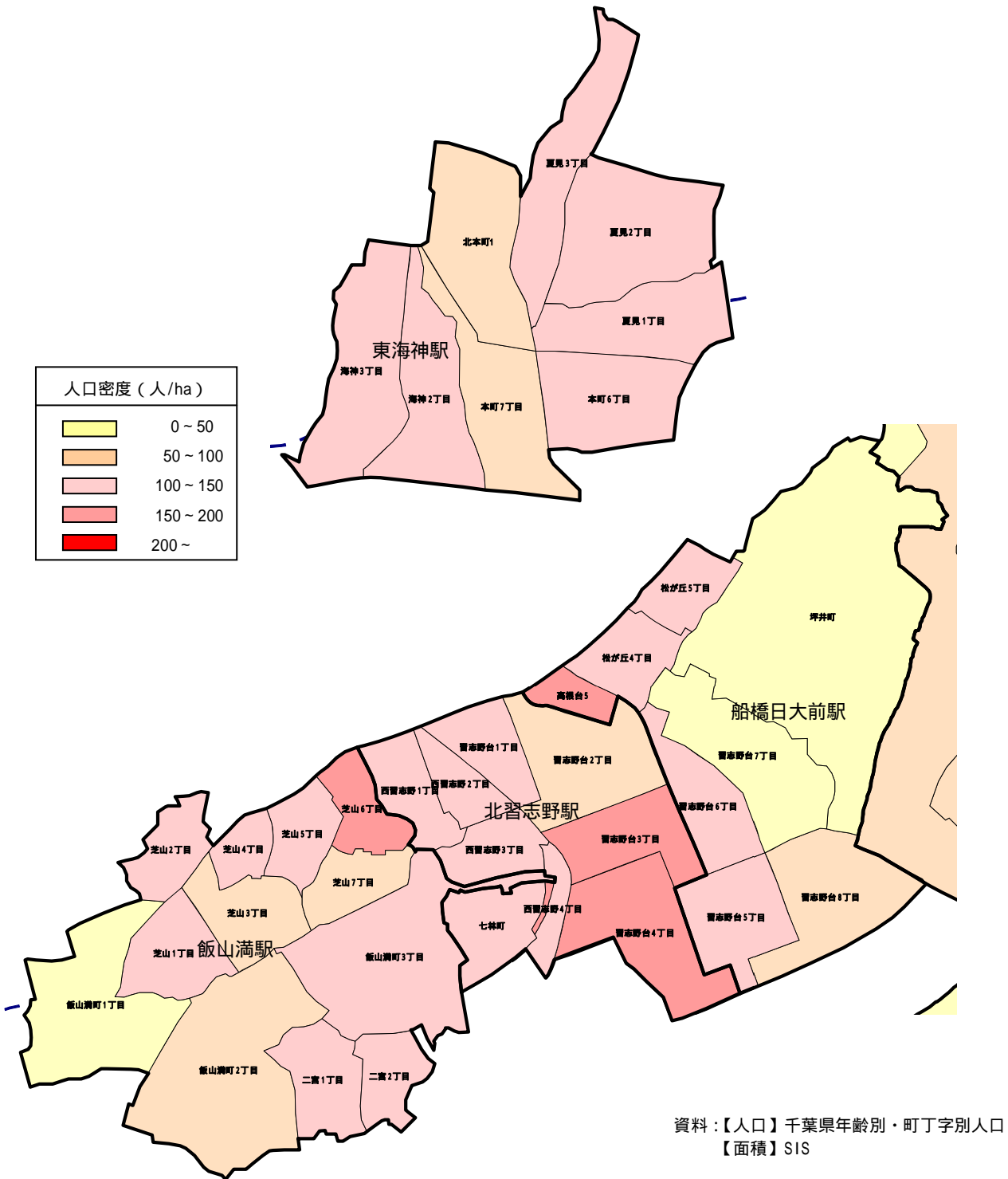
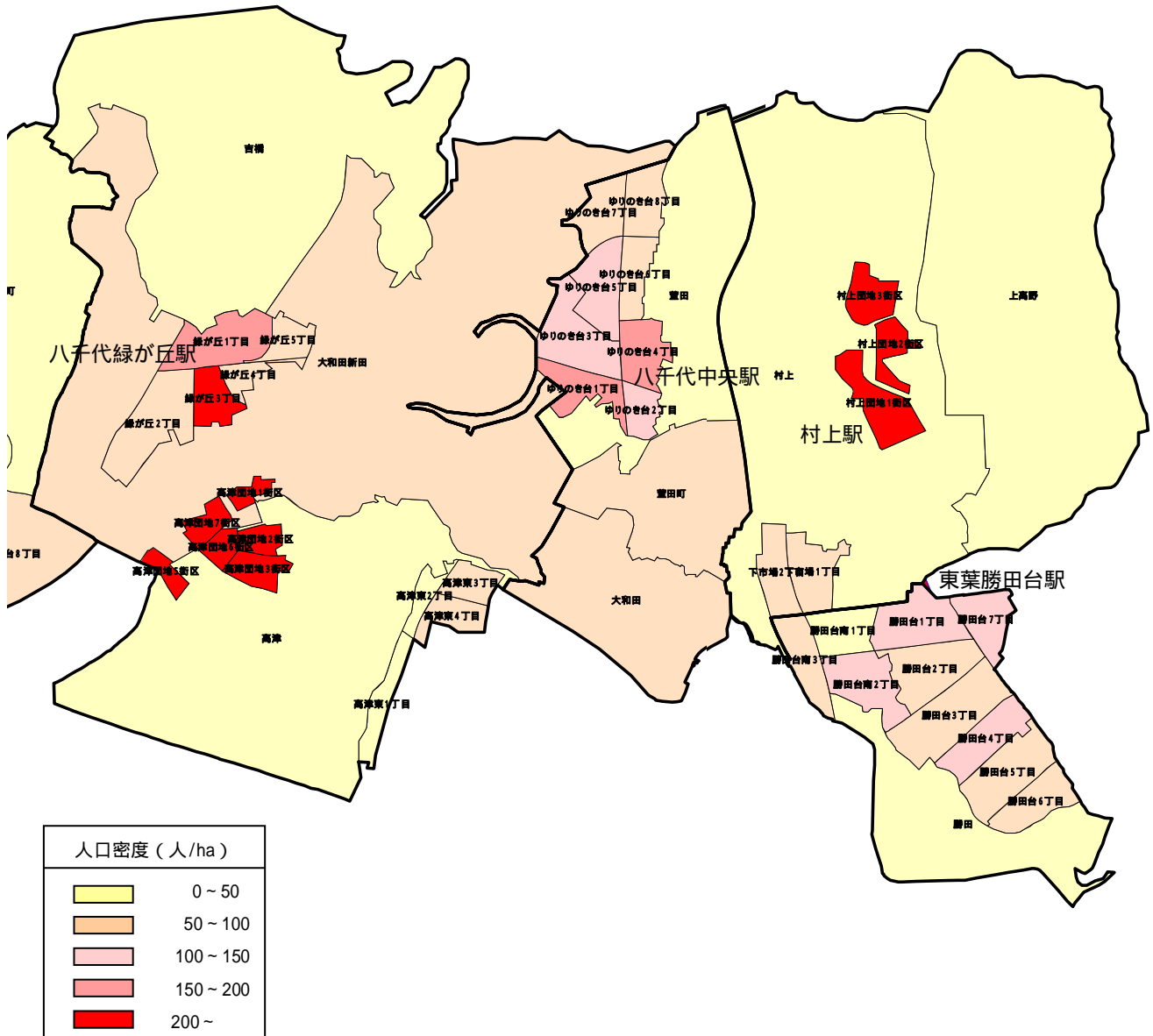


図 1-3 東海神・飯山満・北習志野・船橋日大前駅勢圏の人口密度

八千代緑が丘駅・八千代中央駅・村上駅・東葉勝田台駅（八千代市）

八千代市内の八千代緑が丘駅、八千代中央駅、村上駅、東葉勝田台駅の駅勢圏の人口密度は、八千代緑が丘駅周辺部で人口密度が 200 人/ha 以上と高くなっているが、その他では、八千代緑が丘駅の南側にある高津団地、村上駅の北側にある村上団地が高くなっており、若干、駅から距離がある。



資料：【人口】千葉県年齢別・町丁字別人口
【面積】SIS

図 1-4 八千代緑が丘、八千代中央、村上、東葉勝田台駅勢圏の人口密度

(3) 高齢化の状況

駅勢圏の高齢化率は年々増加しており、平成19年度17.5%となっている。駅別では、東葉勝田台駅が29.2%と最も高く、次いで船橋日大前駅(21.0%)、北習志野駅(19.4%)となっている。

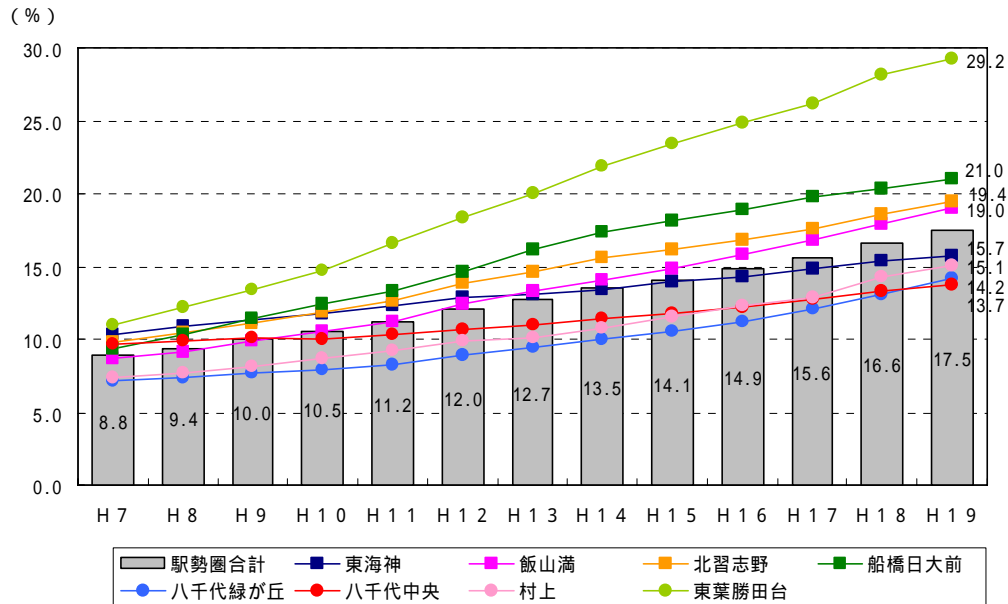


図1-5 駅別の駅勢圏の高齢化率の推移

資料：千葉県年齢別・町丁字別人口

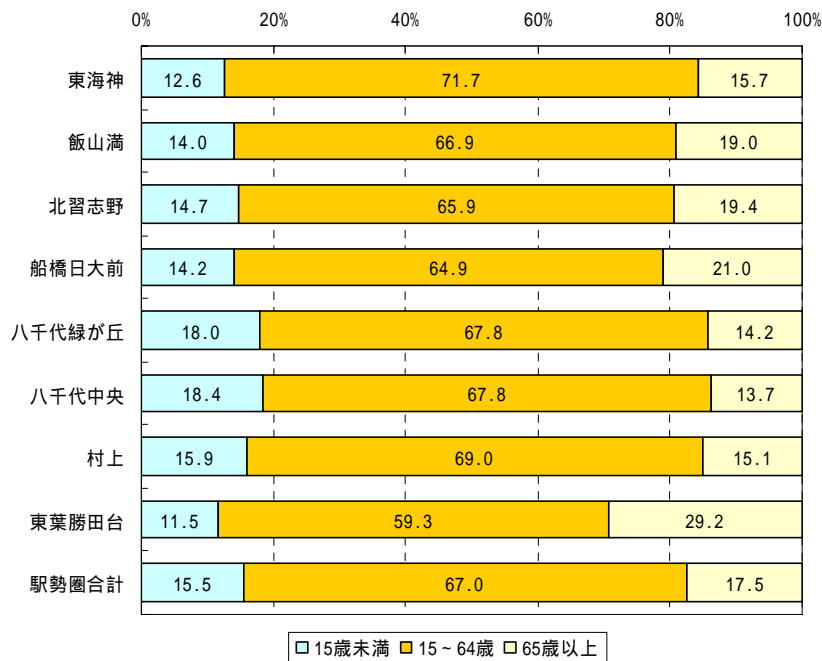
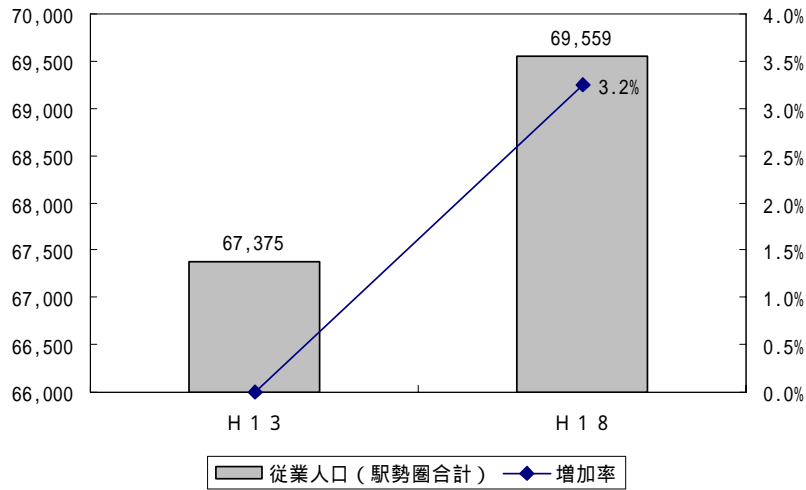


図1-6 駅別の駅勢圏の年齢構成 (平成19年)

資料：千葉県年齢別・町丁字別人口

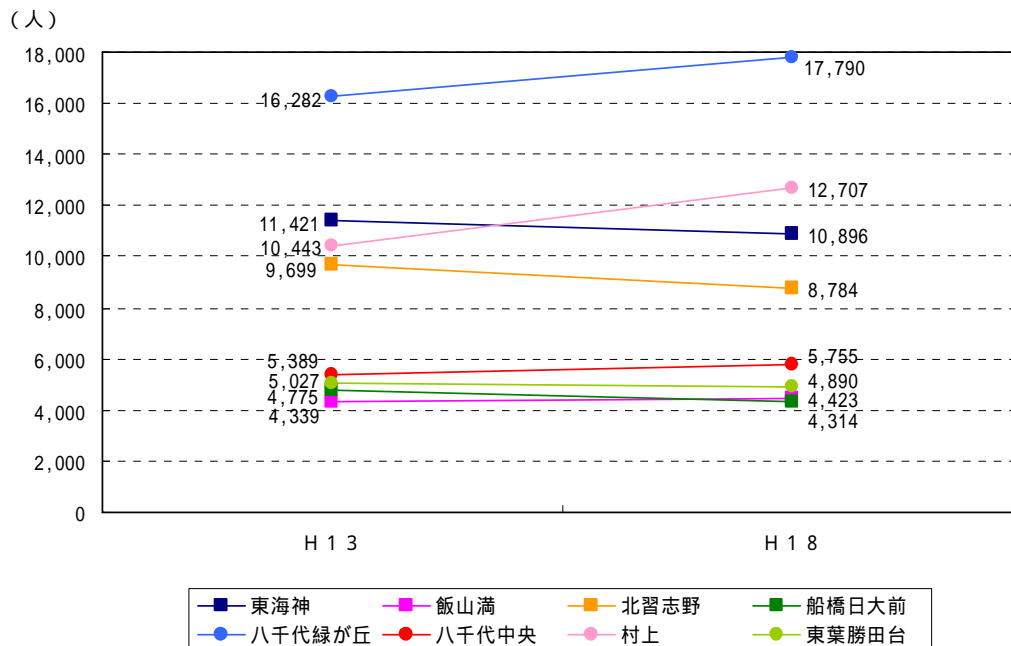
(4) 沿線従業員人口の推移

駅勢圏の従業員人口は、平成13年から平成18年にかけて2,184人増加している。駅別では、村上駅が2,264人と最も多く増加しており、次いで八千代緑が丘駅の1,508人増となっている。



資料：事業所・企業統計調査

図 1-7 駅勢圏従業員人口の推移



資料：事業所・企業統計調査

図 1-8 駅別の駅勢圏従業員人口の推移